

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	職員間での連携やチームワークが未熟。	介護に対する考え方のばらつきをなくし、職員同士の間でしっかりとした共通認識を持つ。	経験や知識の違いから生じる認識の違いをなくすため、ケア会議では参考書や過去の事例をもとに勉強会を行う。管理者と職員間で話し合う機会をつくり、人間関係を構築する。ばらつきのある対応を防止するためマニュアルに沿った介護を実施する。	6ヶ月
2	44	拒否がある入居者に対しての口腔ケアが不十分である。	毎食後に口腔ケアを行う。	拒否があっても、職員を変えたり、時間を置いたりして対応する。 食後はお茶を飲んでいただき、残留物を除去する。 歯磨きを実施出来ない時は、うがいを行う。 対応が難しい利用者は、歯科衛生士に口腔ケアの方法を指導していただく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。